

人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくい 労福協

改装第38号
2009年5月25日発行
発行 福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
編集 機関紙編集委員会
発行人 吉田哲夫

主な活動内容(報告)

I 政策・制度の改善を 求める要求

(1) 困レベルの要求として、地方労協協議や、中部ブロック幹事会などを通して、各県労協の要求を取りまとめた4点について運動を進めたい。①割賦販売法改正実現に伴う課題(消費者行政の一元化・相談機能の強化) ②生活保護制度の改善、高齢者医療制度、反貧困問題 ③後期高齢者医療制度の廃止 ④「遠位型ミオパチ」難病指定の認定の署名活動

(2) 自治体要請として、 対知事要請を行いました。

労福協としては、ライフサポートセンター「福井」への支援と広報協力、並びに消費者センター(消費者センタ)の充実と強化を要請しました。

III 事業活動 (6回開催)

(1) 勤労者生活設計支援事業として、勤労者のための労働問題基礎講座を6地区で開催しました。内容は、①職場のメンタルヘルスについて②年金問題について③裁判員制度について④激動する地域社会と経済について⑤生活相談事例とライフプラン等について

第47回定期総会 挨拶する馬場会長

新聞広告と自治体広報を媒体としました。延べ16会場で開催しました。

(3) 文化事業として、福井県勤労者美術展(第58回)や親子ふれあい事業(6地区)を開催、スポーツ関係は、勤労者綱引大会(協賛「補助」を実施、また文化公演等の入場料を助成し参加を呼びかけました。

働く者の連帯で 格差と貧困のない福祉社会を!

第四十七回 定期総会で方針確認

五月十九日(火)、午後三時よりユニオンプラザ福井において、第四十七回福井県労働者福祉協議会の定期総会が代議員二十九名出席のもと開催されました。

坪内副会長の開会挨拶の後、総会議長に谷池氏(連合福井)を選出、来賓に福井県産業労働部三足課長、福井市労働課保津課長を迎え、挨拶に立った労協馬場会長は「正・非正規間わず人間として、働くものとして生活安定に向けた運動が大切である。また厳しい雇用環境の中でメンタル面や経済的理由による自殺者が依然として多い、そのような社会だからこそ働く人々が連帯し、だれもが安心して暮らせる福祉社会を目指して行こう」と挨拶を行いました。

続いて、来賓兩名より祝辞をいただいたのち、議案審議に入りました。吉田副会長が提案を行い、新規活動を含めたこの一年間の活動報告(08年)と決算内容及び新年度の活動方針(09年)と新年度予算が満場一致で承認されました。その後、役員改選を行い、荒谷副会長の開会の挨拶をもって終了しました。活動報告及び活動方針や新役員(表)については、次の通りです。

2009年度福井県労福協役員名簿 (2009年5月19日～2010年5月総会まで)

役職	氏名	選出団体
会長	馬場 修一	連合 出合
副会長	吉田 哲夫	員外(専従) 労働金庫
〃	荒谷 佳久	全 労 済
〃	坪内 佳久	連 合
〃	宮下 正一	※ 員外(専従)
事務局次長	吉田 哲夫	副会長兼務 員外(専従)
事務局次長	早見 幸夫	連 合
幹 事	久保 主計	連 合
〃	田中 英三	連 合
〃	牧野 恭三	※ 連 合
〃	渡辺 大輔	※ 連 合
〃	酒井 里三	※ 連 合
〃	八幡 一郎	連 合
〃	岩崎 健二	労働金庫 連 合
〃	藤川 武夫	県民生協 連 合
〃	藤川 周市	労 信 協
〃	山口 重正	旅行センター 連 合
監 事	齊藤 重正	連 全 労 済
〃	成 田 重正	連 全 労 済

※新役員

二〇〇九年度の 活動の基調と方針

(基調)
1. 自主福祉事業団体の発展のため、労働団体及び事業団体と連携し、基盤強化を目指すとともに相互理解に努めます。
2. 事業推進にあたっては、関係組織労働者を軸として、未組織労働者やOBの参加も視野に入れながら推進します。
3. 中央・中部ブロック・北陸ブロックの労福協を中心とした連携や情報交換を行い、必要な課題にあっては統一行動に参加していきます。

(重点方針)
政策・制度の改善
自治体への要求については、連合福井並びに各地協と協議しながら、事業団体の要求内容に照らして対応していきます。(県並びに必要に応じて市町村へ要請する)
自主福祉事業の強化
労福協の会員である連合福井と関係組織にしながら、各事業団体間の相互理解をさらに深める手立てを考え、自主福祉事業の各団体の連携・強化を進めていきます。
生活設計支援のため
「分野毎の事業展開」の事業として、「労働問題基礎講座」や「退職前後セミナー」などの講演・研究会を開催します。文化・スポーツ関係事業は、勤労者美術展、綱引大会などを実施します。生活セーフティネットとして、会の実施やライフサポートセンターの相談機能を高めてまいります。

2009年生活応援 「ろうきん」住宅ローン

【固定金利選択型10年】
(最優遇金利) (基準金利)

年1.90% ~ 年2.25%

ご融資額 最高1億円 (団体信用生命保険付)
※3大疾病保障特約・障害特約付は、最高6,000万円

ご返済期間 毎月返済又は、毎月返済・ボーナス返済の併用
※3大疾病保障特約・障害特約付は、最高6,000万円

ご返済期間 最長35年 (1ヶ月単位)

保証 保証機関の保証が必要となります。

ここがポイント
優遇金利幅をご返済終了まで適用!

ここがポイント
いつでも、何回でも、いくらでもOK!

ここがポイント
自動更新で手続きラクラク!

お客様の取引などによる借入当初の優遇金利幅(最大0.35%)は、ご返済終了まで適用されます。

繰上返済の手数料が不要です
※返済条件を変更された場合、別途手数料が必要となります

固定金利選択型をご利用され、特約自動更新のご契約をされた場合、次回以降、特約期間などの更新手続きが不要です。

※住宅ローンならびに夏季キャンペーンの詳細については、もよりのくろうきんまでお問合せください。

北陸ろうきん ホームページで最新情報をお届けしています。
<http://hokuriku.rokin.or.jp>


6月1日より 2009年生活応援 夏季キャンペーン 実施!

抽選で 255名様へ
2009年6/1 ~ 2009年7/31

期間中、対象商品をご利用いただいた方に抽選で賞品をプレゼント!!

1等 ネットブックパソコン 15名様
TOSHIBA NB100/11/PAMB100HNL

2等 ケンカマン(国) 240名様



ぜひお越しください。 ハーツたけふオープン!!

ハーツたけふ 竣工記念式典

5月14日(木)記念式典・プレオープン、15日(金)グランドオープンを迎えました。

記念式典には、来賓に越前市の奈良市長様をお迎えし、ハーツたけふを拠点として食・農・環境・福祉分野における事業・活動への益々の期待とお祝いのお言葉をいただきました。

プレオープン、グランドオープンセールには、多くの組合員の皆さんにご来店いただきました。店舗には子育て支援施設「ハーツきざつたけふ」や集会所「ふれあいルーム」を設置しています。また子育て層の組合員やサークル・グループ活動などにご利用ください。

さらに商業集積として、ベビー・子ども用品店「パスデイ(しまむら)」や100円回転寿司「くら寿司」、うどん店(丸亀製麺)が順次オープンしてまいります。テナントとして、Cネットふくい(ペーカリー)・黒川クリーニング・ATM(北陸ろうきん)が入ります。


越前市や南越前町の組合員約3万世帯の皆さんへの食と暮らしのお役立ちを一層高めてまいります。ぜひ組合員の皆さんのご利用・ご支援をよろしくお願いいたします。

県民せいきょう 「くらしの相談ダイヤル」ご紹介

県民生協でも、消費者問題や食生活・介護・子育てなど、日常生活のなかでの不安や困りごと、疑問についてアドバイスしたり、より詳しく相談にのっていただける専門機関を紹介する「相談ダイヤル」を実施しています。「労福協のくらし何でも相談」とあわせて、ちょっとしたことでも、お気軽にご相談ください。

☎0776-52-0115

受付時間 10:00~15:00(月曜日~土曜日)
★時間外は留守番電話で対応しています。県民せいきょうHPからでもOKです。



全労済

「生活保障プランナー養成講座」開催!!

福井県本部では、4月24日(金)～25日(土)ユニオンプラザ福井において、「第5期生活保障プランナー養成講座」を開催いたしました。県内各協力団体より16名の方々の参加をいただき各テキストに基づいての研修をおこないました。

現在福井県本部では約100名の登録をいただいております。自分自身あるいは家族も含めての保障を考えるときの判断材料(ヒント)になっており、今後もさまざまな情報発信・継続研修などを充実させてまいります。

<生活保障プランナー養成講座内容>

24日

- ①保障設計運動とライフプラン
- ②社会保障制度の基礎知識
- ③税金の基礎知識
- ④生命保障の基礎知識
- ⑤ユニステーション研修

25日

- ⑥金融商品の基礎知識
- ⑦損害保障の基礎知識
- ⑧理解度テスト
- ⑨終了書授与



2009年春

ユニオントラベルNEWS

お問い合わせ、旅行のご相談はユニオントラベル福井まで ☎ 0776-21-2312

ユニオントラベル福井

第80回福井県中央メーデーアンケート集計結果

1.ユニオントラベル福井をご存知でしたか?

はい→166人
いいえ→80人

2.ユニオントラベル福井では航空券、JR券等きっぷ1枚からお気軽にご利用いただけることをご存知でしたか?

はい→143人
いいえ→101人

3.旅行を考える際の情報収集の方法

旅行会社の店頭にあるパンフレット→182人
新聞広告→110人
インターネット→95人
旅行情報誌→85人
クチコミ→33人

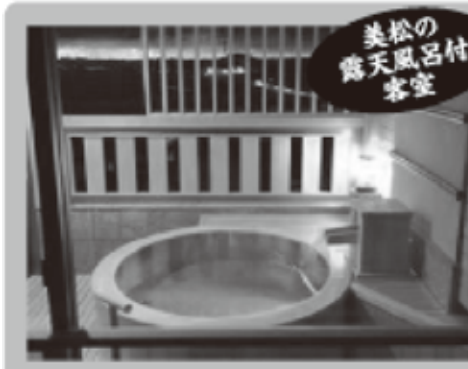


4.家族旅行・出張等の手配の方法

旅行代理店で直接→233人
旅行代理店に電話→135人
インターネット→144人

5.どんなところに旅行に行きたいですか?

TDR・USJ等のテーマパーク→244人
温泉地→133人
北海道・沖縄・九州→152人
海外→35人
・スイス
・グアム
・ハワイ
・オーストラリア
・イギリス
・ノル



なお、今回このアンケートに答えてくださった方限定であわら温泉ペア宿泊券の抽選を行った結果、

市教組の野路 貴美恵さんが当選されました!

野路さんは今回、あわら温泉美松の露天風呂付き客室ペア宿泊券が当選しました!こんな所に宿泊出来るなんてラッキーですね~♪

みなさん、ご協力ありがとうございました!

おめでとうございます!!
ごさいます!!

相談内容

〔労働問題 63件〕

就業規則関連 10件	解雇・リストラ 12件	賃金 8件
雇用・労災保険 6件	社会保険関連 8件	組織相談 3件
退職金 4件	サービス残業 4件	分類なし 8件

- ・相談内容の比率は、解雇・リストラの相談が全体の19%(派遣・契約社員の契約前含む雇止めが目立つ)で、次いで就業規則関連が16%、賃金、社会保険関連(それぞれ13%)の順になっている。
- ・正規・非正規の分類では、正規45%、非正規55%であり、前年度(非正規75%)と比較すると、正規社員の比率(また人数)が増加している。
- ・前述の相談内容(解雇絡みや賃金問題が多い)や正規社員の相談増加は、前年10月以降の急激な景気下落(特に受注悪化により、雇用情勢に悪影響を及ぼす)により、雇用環境面で厳しさが増していると思われ(非正規だけでなく正規社員も雇用面で厳しくなっている)。

〔金銭・財産 122件〕

- ・相談内容としては、多重債務の相談が最も多く、その他では、個人間の貸借りや相続関係、生活苦による金銭問題、身内の借金問題となっている。また、金銭は生活していく上で、なくてはならないものであり、様々な問題に関連してきている。
- ・収入減少により、住宅ローンの返済が負担となっているケースや子供の進学費の工面などの相談もあった。返済期間の延長や複数の借入れを、まとめることで金銭問題が解決することもあった。(生活全般の相談と直接関係している相談も多い)
- ・財産に関連して、生前贈与や推定相続人による親の相続について、また遺言などについて相談があった。

〔生活全般 131件〕

- ・生活に関すること(労働・金銭財産・社会保険等を除く相談)であり、多種多様な相談があった。上記の金銭問題と関連している事柄も多かった。
- ・主な相談内容は、土地・建物の不動産関連、消費契約問題、家庭内問題、両親の高齢問題、人間関係、交通事故、生活苦が原因の様々な悩みや、困りごとなど。
- ・下期に入ると、景気悪化による影響と考えられるが、金銭に関連する生活苦による相談が増えてきている。また、将来の生活が不透明なこと、両親が高齢となるなかで、それに関する相談も少なくない。

〔諸制度関連やその他 48件〕

- ・社会保険制度に関すること(年金・扶養・医療等…後期高齢者)。特に今年度は、雇用保険(加入条件、加入の確認方法)や扶養(社会保険加入、税法上)に関する問い合わせが、それぞれ数件あった。
- (景気が思わしくない中で、雇用・健康・年金保険などの社会保険加入について、関心が高まったのではないかとと思われる)

LSC(暮らしなんでも相談所)
ライフサポートセンター福井
・法律の相談もOK! 弁護士と無料相談可(予約制)
・日常生活の困りごともお聞きします。
フリーダイヤル 0120-629-417 [9:00~17:00(平日)]
ところ 福井市閑屋町1-35 ユニオンプラザ福井1階
(事業主体)福井県労働者福祉協議会

2008年度の相談件数は432件。(「暮らしなんでも相談」出張相談)含む) 専門家・福祉団体や行政相談機関等への取次ぎ(誘導含む)は、計134件。内訳は、弁護士(68件)・司法書士(15件)・労金・全労済、行政サービス機関等(51件)となりました。特に法律的なさまざまな相談や金銭・財産関係などについては、弁護士や司法書士などの専門家により、解決・納得(含む)できたものと考えています。また、相談内容によっては、アドバイスを行

う、または相談内容に則した団体・福祉団体や行政相談機関などに取次ぎ(誘導)するなど、一定程度、問題は解消できたものと感じています。また当センターの最大の特徴は、「無料」で弁護士と法律相談が受けられることであり、今後においても、そのことを含め、積極的な広報・周知活動により、諸問題をかかえている方々からの相談を承る所存です。今年度の相談概要は左記の通りです。

<相談件数、電話&来所、専門家への取次ぎ>

期間	2008年4月 ~ 2009年3月	相談合計	432件	うち 電話相談	249件	うち 来所相談	183件	(うち 専門家等への 取次ぎ数)	(134件)
----	-------------------------	------	------	------------	------	------------	------	------------------------	--------

<相談項目別>

期間	2008年4月 ~09年3月 (相談比率)	労働相談	66件 (15%)	金銭・財産	147件 (34%)	生活関連	163件 (38%)	社保・税金 等、その他	56件 (13%)
----	-----------------------------	------	--------------	-------	---------------	------	---------------	----------------	--------------

ライフサポートセンター福井2008年度の相談状況

2008年4月
~
2009年3月

福井県求職者支援センターのご案内

福井県求職者支援センターでは、雇用情勢の悪化を受け職を余儀なくされた方をはじめ皆様の生活の安定と再就職を支援するため、さまざまなサポートを行います。

福井県求職者支援センター

福井ハローワークプラザに併設

住所 〒910-0005 福井市大手3丁目4-1 福井放送会館3階

フリーダイヤル ☎0120-240451

FAX 0776-30-0452 TEL 0776-30-0451

利用時間 月~金曜日 8:30~18:30
土曜日 10:00~17:00(祝日を除く)



相談はもちろん無料。予約もいりません。お気軽にお越しください。



暮らしや仕事のことでお困りの方はぜひご相談ください!